

行動シート

行 動 主 体 名	里支所 地域振興課
課・室・施設長名	平嶺 休丸
組 織 の 使 命	<p>住民の安全・安心を第一に情報伝達, 公聴広報, 地域防災体制の充実等住民と行政の窓口として重要な責務を持つ。</p> <p>一方, 市税の滞納防止, 徴収率の更なる向上を図るとともに, 本庁・支所間の連絡調整を的確に行い, 住民と一体となった行政運営に努める。</p>
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ol style="list-style-type: none"> 1 薩摩川内市の目指している方向性を住民に早く理解してもらうため情報提供を的確に行う。 2 地域の長所は伸ばし, 悪しき慣例は排除して, 新しい制度に慣れ親しむように努める。 3 住民の声が十分に反映されるように, コミュニティ協議会の組織の充実を図る。
事務改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 住民の要望に迅速かつ公平に対応するため, 本庁・支所間の連絡網を充実する。 2 国・県の組織変更による住民サービスの低下に対応するため, 各課の枠をはずし関係機関と連携を密にしてフォローする。
接遇改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 住民に安心感を与える 明るく・親切な窓口業務を行う。 2 職員へ市民憲章を徹底し, やさしく・話して・考えて・やるように指導する。
経費節減に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 3Rの徹底。Reduce リデュース (発生抑制)・Reuse リユース (再使用)・Recycle リサイクル (再利用) 2 光熱水費等の節減の徹底

行動シート

行動主体名	里支所 市民福祉課
課・室・施設長名	村岡 孝志
組織の使命	戸籍，住民基本台帳，年金，福祉，地域医療，国保介護保険，健康推進，環境衛生等の所管事務は，住民と直結していることから，住民が健康で明るく安心して生活できる環境づくりのため，住民サービスの向上に努める。
現状認識及び中期（向こう3年内）展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい体制の下，これまでの行政事務の見直しや新規事業等の推進をしながら，地域活性化のため支所機能の充実に努める。 ・ 地域に必要とされるものを良く見極め，予算や事務の執行に反映させていく。 ・ 高齢者対策として，介護保険，老人保健制度等の適切な運用を図っていく。 ・ ごみの減量化を推進し，住民の環境に対する認識を高めていく。
事務改善に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に福祉事業，国保介護保険事業，老人保健事業，健康推進事業等事務の執行については，常に制度適用対象者の見直しや洗出しを行い，公平な住民サービスに努める。 ・ 各自，担当事務に対し常に問題意識を持ち，また，自己啓発をしながら事務の改善に努める。 ・ 本庁，支所間の連携を密にし，事務の執行に支障が生じないように努める。
接遇改善に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支所窓口において，住民票・戸籍の謄抄本等の交付事務あるいは，各種の申請受付事務等は迅速に処理し，お客様の待ち時間の短縮に努める。 ・ 診療所窓口において，大半が高齢者のためご機嫌伺いなど，きめ細かな対応で接し，来診時の患者さんの不安解消に努める。 ・ 住民の行政相談等には，迅速で真摯に対応するよう共通認識をもたせる。
経費節減に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁等への，事務連絡等はメール等電子媒体を利用する。 ・ 使用済用紙の裏面活用など古紙の再利用に努める。 ・ 昼休時間中の，パソコン，照明等の節電に努める。 ・ 事務用品は，無駄なく使用する。

行動シート

行動主体名	里支所 産業課
課・室・施設長名	堂園 誠四郎
組織の使命	里町が持つ豊かな自然を生かした農業や水産業，サービス業など多種多様な地場産業の機能を持つ「地域力」を十分に活用した創造性あふれる産業の振興を図るとともに，「人・物・産業・自然」のそれぞれの機能を連携した観光の展開を進め，地域経済の向上を進める。
現状認識及び中期（向こう3年内）展望	少子高齢化により就業構造に変化をもたらし，町内純生産額も低減傾向にあるものの，町民の地域資源を踏まえた地域活性化に対する意志力は高い。今後は里町の持つ地域力を踏まえた個別振興を進めるとともに，1次産業から3次産業のあらゆる業種を取り組んだ総合産業としての観光を図るために町民はもとより関係機関との連携強化を進め，魅力ある地域づくりを目指す。
事務改善に関する行動計画	「魅力ある地域づくりこそが観光の基本」として位置づけ，産業の重要性の再認識と観光へ結びつける事業展開を検討する。また，産業を通じた日常において地域住民が地域に誇りを持ち，そのあり方を職員相互が徹底的に考えるように情報交換を促し，自己啓発を行い，地域住民の要求に対応していく。
接遇改善に関する行動計画	主役としての立場を地域や住民の側に置き，地元産業の活性化や定住人口の増加とあらゆるイベント(文化・スポーツ・観光等)を媒体とした集客・交流を図ることを基本として住民および来島者に質の高いサービスを提供する。あわせて，課員が共通の情報を発信できるように常に情報の共有化を図る。
経費節減に関する行動計画	執務事務はもちろんのこと，産業の育成および集客も費用対効果(金・時間・情報・満足等)に左右されることを念頭に置き，課員のコスト意識のさらなる自覚と課内での横断的な対応を心がける。また，地域力を助長し，成果へ結びつける要因として人情報の的確・タイムリーな判断を促し，タイムロスをなくすることを心がける。

行動シート

行動主体名	里支所 建設水道課
課・室・施設長名	早瀬 清
組織の使命	<p>スマート作戦の実施要領を踏まえ、建設部及び水道局との密な連携を図りながら、建設水道課の職務を柱において、常に職員の資質向上に努め、市民生活に直結したサービス、要望に応えられるよう課題解決に向けて取り組むことを使命とする。</p>
現状認識及び中期（向こう3年内）展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過年度までの未登記の土地が約200件ある。登記名義人の死亡等で事務処理が滞っているため、2割の登記を確保したい。 ・ 簡易水道に関しては、改良工事の早期完成を目指すとともに、地域住民に安全かつ安定した水の確保に努める等、維持管理業務の充実を図る。 ・ 農業集落排水事業については、工事の早期完成を目指す。また、宅内のつなぎこみの目標として50%を確保するなど、接続率のアップを図る。 ・ 市営及び公営住宅については、老朽化した施設の点検及び維持修繕に努める。 <p>特に今後のハード面の整備については、地区コミュニティ協議会や地域住民の声を生かし、現状の把握、事業の必要性等を考慮しながら施策を展開していく。</p>
事務改善に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の者に負担がかからないように事務の調整を図る。 ・ 事務事業の進捗の度合いや情報の共有化を推進するために、課内会議の充実を図る。 ・ 課の職員が共用できるよう、各自書類の整理整頓を図る。
接遇改善に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民に親しまれる職場、また職場の活性化のためにも、応接や電話での対応、言葉使い、挨拶そして礼儀など、先ず基本的な事項に取り組む。お互いミーティング等でその行動を評価しあう。 ・ 市民との応接では、要件、要望等を的確に把握し、適切な対応に努める。
経費節減に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁支所間は勿論のこと、県庁や県の出先機関についても、必ず内線や無線電話を利用する。 ・ 長電話にあっては、内容等の聞き取りを行い、次回に生かすようお互い指導する。 ・ 課職員共有の一般文書等は各自コピーせず、共有文書綴りの活用を図る。 ・ 会議等の資料はミスコピー等の裏紙利用を図るとともに、両面コピー等の活用を図る。 ・ 常にコスト意識を念頭に置いて経費節減に努め、ミーティング等で各自の取組や成果等を話し合う。

行動シート

行動主体名	里教育支所 教育課
課・室・施設長名	平嶺 廣教
組織の使命	<p>教育部の目指す多様な施策の中で，本教育支所においては，社会体育施設等の効率的運営管理と効果的利用促進のための方策の具現化を組織の使命とする。</p>
現状認識及び中期（向こう3年内）展望	<p>本教育課管内が所有する社会体育施設の中で，里プール（平成8年9月供用開始，25M×5コース，幼児・リハビリプール）は，ソーラー及びボイラー兼用の温水プールであるため，プール利用に係るランニングコストが高いことなどが判明しているため，他の施設も併せてコスト低減に見合った運営管理と利用時間等の見直しを行う。</p>
事務改善に関する行動計画	<p>簡便な利用手続きの方法及び利用料金の妥当性，納入方法等について検討を図る。</p>
接遇改善に関する行動計画	<p>利用者へのサービスを図るため，各施設において，人的な対応として専門家（水泳であれば，インストラクター，その他の施設であれば，体育指導員等）を配置し，技能向上につながる積極的な指導態度で接しながら，効果的な利用促進を図る。</p>
経費節減に関する行動計画	<p>各施設の運営組織（プールにおいては，里プール運営協議会）意見等を尊重しながら，利用期間，利用時間及び収支バランスに対する利用料金設定等についてリニューアルする。</p>

行動シート

行動主体名	薩摩川内市甌農業委員会事務局
課・室・施設長名	角 至
組織の使命	<p>農業委員会は、農業及び農業者の代表機関である。農地の権利調整や農業振興についての対策や農業に関する意見公表、建議又は諮問への答申など農業、農業者に関する様々な事項にわたる広範な役割を有している。</p> <p>これらの事務を行うに当たっては、市長部課あるいは各種農業団体と緊密に連携して農民に対するサービス業務がより効率的に運営するよう務める。</p>
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<p>薩摩川内市農業委員会(本土5地域)と比し、法に基づき専属的な権限として行う事務が比較的少ないため、職員の資質低下が懸念される。</p> <p>今後は、職員研修や事務処理説明会等を実施し、専門的な知識の習得、職員の資質向上を図り、業務の効率的運営に努める。</p>
事務改善に関する 行動計画	<p>薩摩川内市農業委員会及び各支所と緊密に連絡調整を行い、住民からの許可申請等に事務処理の停滞を招かないよう努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 薩摩川内市甌農業委員会(甌島4地域)事務局と各支所との連携強化 2 薩摩川内市農業委員会及び各支所職員の合同研修会等の実施 3 常に問題意識を持ち、自己啓発を行い、職員全員の共通認識と共有化を図る。
接遇改善に関する 行動計画	<p>常に住民の立場に立って、迅速に丁寧に関わりやすく対応できるよう心がけ、情報提供及び相談・指導を積極的に行う。</p>
経費節減に関する 行動計画	<p>職員のコスト意識のさらなる自覚を持つとともに、予算については、甌農業委員会事務局で一括管理している。委員会の会議開催場所については、上甌島、下甌島の開催に配慮しつつ、コスト削減に努める。</p>